

こくみん共済 coop みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり <全労済> は生活協同組合です たすけあいのココロからうまれました

東日本大震災から10年・阪神淡路大震災から25年・熊本地震から5年が経過した今年、地震に限らず大災害を“じぶんごと”として考え、そして備えることが大切です。

自分が住んでいる土地の特徴を知り、避難するか、家に留まるか見極めよう

自分が住んでいる土地の情報や自然災害リスクを、あらかじめ知っておくことはとても重要で、地理院地図やハザードマップなどで得ることができます。より多くの情報を持つことで、適切な防災対策ができ、安全を確保しやすくなります。

例えば、国土院のホームページにある地理院地図では、住所を入力すると、土地の成り立ちや地盤情報、標高、その土地が本来持っている自然災害リスクなどを地図上で確認できます。「埋め立て地だから液状化しやすい」「豪雨になると浸水しやすい」などの情報を知ること、さまざまな災害時に、早めに避難するべきか、家に留まるべきか見極めることが可能です。避難行動の判断や日頃の備えの参考になりますので、ぜひ確認してみてください。



一つ一つの災害が巨大化

地球温暖化の影響により、気象庁では「今世紀末には今より温度が3度程度上昇する」とコメントしています。地球温暖化に歯止めがきかない中、海水温度上昇の影響を受けて、台風や豪雨などの被害が毎年起きると覚悟したほうがよいでしょう。災害は、頻発化だけでなく、一つ一つが巨大化しています。爆弾低気圧、ゲリラ豪雨、スーパー台風のような呼び方や「歴史的に…」 「〇年に一度の…」 など、規模を強調する言葉が使われるようになりました。これからは、巨大化した災害が当たり前ようになっていくと思われまます。

今までは「万一災害にあったら」といわれていましたが、これからは「万一」ではなく、「必ず起こる」という意識を持ち、日頃からどうやって命を守り、いち早く生活を再建するのかを考え、備えましょう。



ご存じですか？「みんなの防災」

こくみん共済 coop のHPには、「みんなの防災」ページがあります。もしものためのモノ、アクション、ココロの備えや、親子で学べる防災クイズの他、本特集でご紹介している危機管理アドバイザーの国崎信江さんの様々なコンテンツもご用意しています。



皆さまといっしょに これからの防災・減災を考える ホームページが始まりました。

特設サイトはこちらから



絆をつなぐ レインボー・バトン

メッセージ

東日本大震災から10年目にあたる今年、みんながあんしんできる未来をつくるために、防災・減災に関する情報を発信する新しいサイト「防災・減災 住まいる共済」を公開いたしました。

大規模な自然災害が頻繁に起こる日本では、“保障で備える”ことも立派な“防災”です。グッズを備えるだけでなく、避難や生活再建に必要な“知識”や“保障”を備えるために、ぜひご活用ください。



こくみん共済 coop 公式キャラクター ビットくん・ビットくんファミリー

これからの防災を考える2つの特別コンテンツ

動画配信

避難時に何を備える？

生活再建に必要なものとは？

危機管理アドバイザー国崎信江さん
キキカンリ講座



第1弾 2月26日(金)公開

第2弾 3月8日(月)公開

- 第1回 これまでの10年とこれからの備え
- 第2回 マイタイムラインを作成しましょう
- 第3回 感染拡大時の災害対応の考え方 ~在宅避難~
- 第4回 自分の地域の災害リスクを知るには
- 第5回 新しい知識で地震災害から命と暮らしを守る
- 第6回 早期に生活再建をはかるために

記事配信

東日本大震災から10年
3月11日のストーリー

2月26日(金)公開

東日本大震災を経験され、こくみん共済 coop とともに前へ進む皆さまの体験談を集めました。過去にない規模の自然災害が、どこで起きても不思議ではない時代だからこそ、これからの教訓として、ぜひご覧ください。



こくみん共済 coop <全労済> 山梨推進本部 (山梨県労働者共済生活協同組合)
 事業推進課 TEL 055-237-6861

こくみん共済 NEWS
 1720Z001

「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済
 全国労働者共済生活協同組合 coop

たすけあいの輪をむすぶ

【編集後記】 新型コロナウイルスの収束が見えない中で、新年度を迎えることになりました。暫くは対策に追われることになろうかと思えます。また、季節の暖かさと共に感染防止に対する意識も緩みがちですので、一人一人が感染防止対策を再確認する中でコロナ禍を共に乗り越えて行きましょう。



避けることのできない台風や地震などの万一の災害。住まいの保障から事業を開始したこくみん共済 coop では、万一から命と暮らしを守る防災・減災活動に取り組んでいます。東日本大震災から10年、これまでの災害対応の中で得た教訓と経験をもとに、更なる防災・減災の普及とネットワークづくりを進めていきます。